



令和4年(2022年)第36週 2022年9月5日(月)~2022年9月11日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報

熊本県ホームページ
「日本紅斑熱について」

厚生労働省ホームページ
「ダニ媒介感染症」



県内の日本紅斑熱の発生は春~秋にかけて多い傾向があります。病原体(リケッチア)を保有するマダニに刺咬されることで感染するといわれ、予防策としてはマダニに刺咬されないようにすることが重要です。

・潜伏期間…2~8日・治療…対症療法・症状…頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症します。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。

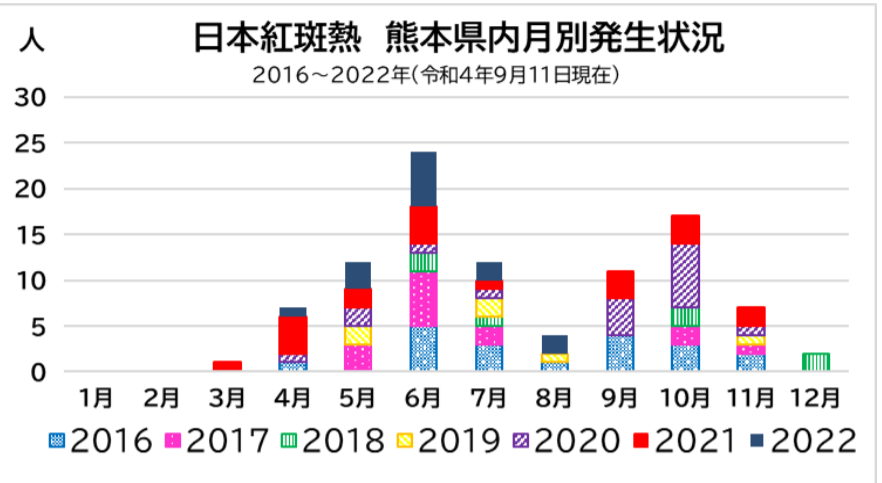
◆予防法は？

・マダニに刺咬されないようにすることが極めて重要です。

・草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボン(シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる)、足を完全に覆う靴(サンダル等は避ける)、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。服は、明るい色のもの(マダニを目視で確認しやすい)がお勧めです。ディートやイカリジンという成分を含む虫除け剤の中には服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があると言われています。

また、屋外活動後は早めに入浴し、マダニに刺咬されていないか確認して下さい。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などがポイントです。吸血しているマダニは、皮膚科などを受診して除去してもらって下さい。

マダニに刺咬された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の異常が見られたら医療機関で診察を受けてください。



期 間		2022年 35週		2022年 36週	
		8/29~9/4		9/5~9/11(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	0	0.00	2	0.08
RSウイルス感染症	↑	5	0.31	13	0.81
咽頭結膜熱(プール熱)	→	0	0.00	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1	0.06	0	0.00
感染性胃腸炎	↓	41	2.56	29	1.81
水痘(みずぼうそう)	→	1	0.06	0	0.00
手足口病	↑ (増加中)	31	1.94	34	2.13
伝染性紅斑(りんご病)	→	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	→	10	0.63	11	0.69
ヘルパンギーナ	↑	4	0.25	7	0.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	3	0.60	3	0.60
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00